

会長挨拶

「ネット会長

太田四郎

(本町五丁目出身)

本日は、ご多忙の中平成十七年度総会のためにご来賓をはじめ多数の会員の皆様方にご出席いただきありがとうございます。開会にあたりまして一言ご挨拶申し上げます。

昨年は中越大震災をはじめ多くの台風など自然災害に悩まされた年でございました。

今年こそは穏やかな年でありますように年頭に願っておりますが三月の福岡大震災、一ヶ月前の尼崎電車大事故など年が新たまりましても災害がおこり、災害はいつでも起こりうるという感じをしたわけでございます。

一方、経済情勢につきましては景気の回復について、先行き明るい感じがでてきたところでございます。それから内外の政治情勢混乱につきましてなかなかむづかしい問題が蓄積しているような状態でございますが、そのような中でふるさと上越ネットワークはおかげさまで平成九年設立以来九年を迎えることが出来ました。

この間会員の皆様方のご協力によりまして、文化講演、あるいはふるさと越後大使などの新規事業が定着いたしました。また各事業の内容につきましても充実してまいりましたわけでございます。先月「ふるさと交流会」がございまして高田

城址の花見に参加したわけでございますが、花見は残念ながら少し早すぎましたが、翌日名立に行きまして名立に日本一のもくき工場がございまして、一、三〇〇年前に創建されたという岩屋堂観音堂、鳥ヶ首岬灯台から眺める日本海の絶景、なかなかたいしたものだというところで名立も新しい上越市のなつたわけでございますが、非常に大きな観光資源がありまして、それをまづ交流事業として取り上げたということは企画としても立派だなと感じた次第でございます。三浦部長のふるさと、それから理事の下山さんのふるさとでございますが、海岸沿いのさびれた日本海の漁港ですが、まわってみますとこ

なにいところがたくさんあるのでびっくりしました。これから交流事業はいろいろ新しくなった区域をこのようにまわるわけでございます。皆様方にふるつてご参加していただいで新上越市のいいところを満喫していただきたいとおもっているわけでございます。このような事業やっていただいでおるわけでございますけど、残念ながら当初一、〇〇〇人超えておりました会員数は年度末には八〇〇人を切るまでに減少してきたということでございます。今年度の新規事業としましても新たに上越市となつた地区のふるさと会との交流を計画しておるといってございまして、今回の合併を契機といたしまして会員増強についてよろしくご尽力をお願いいたします。これは毎度お願い申し上げて恐縮でございますがよろしくお願ひしたいと思います。今日は年に一度の総会・懇親会でございます。このひとときを語らいな

がら楽しく過ごしていただきたいと思っております。

最後になりましたが皆様のおすすめのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

平成17年度ふるさと上越ネットワーク
総会・ふるさと寄席

